

たとえ小さくても挑戦する夏休み（一学期終業式から）

校長 石村直義

1学期の終業式を迎えました。振り返ってみて、どのような学期だったでしょうか。授業や部活動、生徒会活動、学校行事など、一人ひとりにさまざまな出来事があったと思います。目標を達成できた人もいれば、思うような結果が出ず悔しい思いをした人もいるでしょう。しかし、結果が全てではないと思います。その過程で何を学び、どのように成長したかです。「成長とは昨日の自分を少しでも超えること」だと思います。小さな一歩の積み重ねが大きな成長につながっていきます。皆さんには、かけがえのない価値と、自分でも気づいていないような能力、可能性があります。失敗を恐れず、挑戦を続けてください。

「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。

門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」（マタイによる福音書7章7節）

この聖書の御言葉は、神様が私たちの思いのすべてを分かってくださり、最善を用意してくださる確かさを伝えていますが、ただ待つのではなく、自分に与えられた賜物を十分に活かし、あなたらしい独自の行動を起こしてみなさいと奨めています。自分自身で積み重ねをし、それが成長につながり、道が拓けていくということです。

3年生の皆さんは、進路実現に向けて大切な夏となります。思うように進まず、不安になることもあるでしょう。しかし、「求め、探し、門をたたく」ことを諦めないでください。努力を続ける人には、必ず進むべき道が拓かれます。

1・2年生の皆さんにとっても、この夏休みは大きく成長するチャンスです。普段はできないことに時間をかけてみる、読書に親しむ、何か新しいことに挑戦する、部活動により打ち込む、家族との時間を大切にする。そのような経験を通して、ぜひ、自分の心を豊かにし、心身ともに成長させる時間にしてください。

自分自身が納得できる目標を立て、具体的な取り組みを決めて実行し、後で振り返って、「この夏、自分はこれを頑張って、やり遂げた」と、自分に胸を張って言える、そのような夏休みでありますように。

8月行事予定											
6日	5日	1日	31日	29日	28日	27日	26日	25日	24日	17日	8日
日	土	火	月	土	金	木	水	火	月	月	土
教会出席日	第2回オープンスクール（午後）	体験ツアー	代休（29日分）	活水祭2日目	活水祭1日目	終日活水祭準備	高Ⅱ①④活水大探究クリニック	特別授業（～27日）	高Ⅱグループバル小論模試	始業式・高Ⅲ進路説明会	第3回活水女子大オープンキャンパス

第1回オープンスクール開催

7月11日(土)に全校生徒で来校者を迎え、無事に第1回オープンスクールを終えることができました。

活水が誇る吹奏楽部のウェルカムコンサートから始まり、生徒が代わる代わる登壇し、活水で学んでいることをたくさん話してくれました。その後授業見学会に行き、活水の授業の雰囲気を味わっていただきました。ステージショーでは、新体操部による制服紹介パフォーマンス・スクールライフ劇・トークセッションを見ていただき、活水の魅力を思う存分伝えました。が！活水にはまだまだ伝えきれなかった魅力がたくさんあります！第2回オープンスクールでは在校生交流会があり、活水生の本音が聞けますよ！お申込みお待ちしております♪

（草野深音）

第2回オープンスクール 9月5日（土）午後



お申込みはコチラ→

プログラム

- 吹奏楽部による ウェルカムコンサート
- 全体会
- 活水生体験 ・在校生交流会
・授業体験
- 自由参加プログラム 個別相談会/部活動体験
校内探検/寄宿舍見学
EMO体験



今月の聖句

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」
（マタイによる福音書 5章9節）

聖フランシスコによる「平和の祈り」は、実際には彼自身の作ではありませんが、世界中の多くの人々に愛されている祈りの一つです。その前半部分を紹介します。

主よ、わたしを平和の器とならせてください。

憎しみがあるところに愛を、争いがあるところに赦しを、分裂があるところに一致を、
疑いのあるところに信仰を、誤りがあるところに真理を、絶望があるところに希望を、
闇あるところに光を、悲しみあるところに喜びを。

私たち一人ひとりが世界の平和を祈り、毎日誰かのために祈ることは、小さなことのように思うかもしれませんが、祈り続けることがやがて大きな平和へとつながっていきます。神様がすべての人を愛してくださっているように、私たちもお互いに思いやりをもち、助け合い、平和をつくる人として歩みたいと思います。

（常泉晶子）

ピースコンサート ～音楽と言葉でつながる、心の対話～

２０２６年度芸術鑑賞会 井上鑑さん、ナターシャ・グジーさんによるピースコンサート ～音楽と言葉でつながる、心の対話～ ７月３日（金）１４時～１５時３０分

事前の計画や会場準備、当日の司会・運営には生徒会も携わり、全校で心豊かな時間をつくり上げました。特に、井上鑑さんご自身のイギリス留学で体験した音楽の学びと、「クスノキ」を通して音楽を育てるという大切な経験が今もなお続いている奇跡のお話や、ナターシャ・グジーさんの歌とバンドゥーラ弾き語り、そして、チェルノブイリ原発事故から４０年、ロシアによる侵攻から４年について考えることができました。生徒アンケートでは、「歌声とピアノの響きに鳥肌が立った」「ウクライナや平和について考えるきっかけになった」との感想が多数寄せられました。音楽の美しさと、そこに込められた祈りを受け取る貴重な学びとなりました。（岩永崇史）



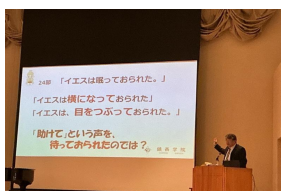
薬物乱用防止教室

７月８日（水）LHRの時間に、スクールサポーター 川口肇さんによる薬物乱用防止教室が実施されました。昨年も川口さんに講演いただき、事後アンケートで生徒の意見を集めました。「実際に薬物乱用をしてしまった人の声が聞きたい！」という声が複数あり、今回は使用者にインタビューしている映像を見せていただくことができました。元々薬物について理解や知識がある人でも、その場の雰囲気や流れ、プライドが邪魔をして使用してしまう場合があること等を学ぶことができました。信用できる友人をつくることのできるような芯を持った自分でいたい、怪しい場になったときにはその場からすぐ逃げる・強い気持ちで関係を断つことが大事だと思った、という感想も多くありました。生徒は長崎県内でも検挙された高校生がいることを知り、身近にそのようなことがあると驚き、真剣な表情で聞いていました。感想を見ていると、一度だけと思った薬物が人生を壊す、ということをよく理解できており、学習効果を感じました。（山口愛未）

キリスト教講演会

７月７日（火）、キリスト教講演会が行われました。講師には、鎮西学院高等学校の宗教主事をされている鐵口宗久先生をお招きし、「困った時こそ、神だのみ！」という主題に生徒たちは耳を傾けました。（生徒の感想を一部紹介します）

- ・神様を頼ることはダメなことではないし、むしろ助けてと言える希望を持てる存在であることを自分の中で絶対に忘れないようにしたいと思いました。
- ・神様は人間をかけがえのない存在として創造され、どんな時も見捨てることなく助けてくださる方と改めて感じた。そのために存在して下さると考えた。「困った時の神だのみ」は「困った時こそ神だのみ」という言葉を心に留めて、神様にこの身を任せて楽しい人生を送っていききたい。（常泉晶子）



国スポ 九州ブロック予選

新体操部

７月１１日（土）、１２日（日）に鹿児島県で行われた令和８年度国民スポーツ大会九州ブロック大会に出場しました。団体（久米、平井、山田、大石、谷口）個人（久米、平井、大石、谷口）ともに練習の成果を発揮できず、団体は７位でした。この大会が今年度のチームでの最後の試合となりましたが、この経験を忘れず次に繋げていきたいと思います。応援ありがとうございました。（向井杏奈）



バレーボール部（ビーチバレー）

国民スポーツ大会九州ブロック予選が７月１８日（土）、１９日（日）に鹿児島で行われました。鎮西学院とペアを組んだ高Ⅲ羽入田華音さんは４県によるリーグ戦で初日に沖縄に２-０、福岡に２-１で勝利しました。２日目の佐賀戦を１-２で惜敗し、パート２位で鹿児島と代表決定戦をし、最終セットで相手にマッチポイントを握られたところから持ち前の負けず嫌いを発揮し大逆転で勝利しました。９月に青森で行われる国民スポーツ大会に出場します。（平野智也）

長崎県吹奏楽コンクール

７月１８日（土）、１９日（日）の２日間アルカス佐世保にて長崎県吹奏楽コンクールが行われました。活水は２日目の２番１０時４５分から本番でした。朝が早いので前日から佐世保に泊まり、朝５時から九州文化学園高校の合奏室を借り練習をしました。

まだまだ課題は山積みですが県大会を無事に突破し九州大会への出場が決まりました。吹奏楽コンクールの練習に加えてマーチングの練習も始まります。吹奏楽部にとってはここからが頑張りところです。

活水らしい煌びやかな音楽が奏でられるよう頑張ります。

応援をよろしくお願いします！！

（杉町たまみ）



大会成績等

＜バレーボール部＞

長崎県ビーチバレーボール選手権大会

優勝 羽入田華音（活水）、鎮西学院ペア

＜中高吹奏楽部＞

長崎県吹奏楽コンクール

金賞（九州吹奏楽コンクール 県代表）

＜平和学習部＞

国際青年平和交流事業

「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」
認定

＜コーラス部樟TwinkleStars＞

NHK全国学校音楽コンクール長崎県コンクール

銅賞
（岩永崇史）